

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五六（公衆）〇四七二二二七二〇七

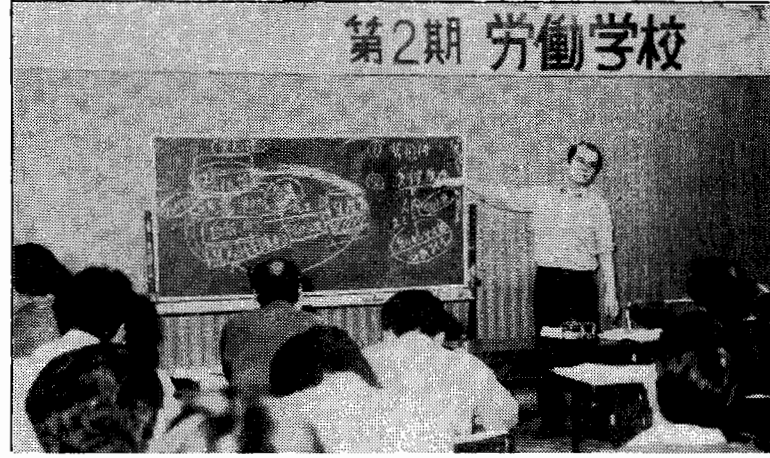
# 国鉄「分割・民営化」阻止！三里塚二期着工粉碎！ 労働学校 2回講座 ひらかれる(5/31)

埼玉大学教授鎌倉孝夫氏を講師に  
テーマ『労働者とは』を追求

第二期勤労千葉労働学校の第二回講座は、五月三十一日、埼玉大学・鎌倉孝夫教授を迎え、「労働者とは」をテーマに講演をうけた。講師は、「社会の担い手としての労働者は、労働なしには生存し得ず、労働・生産過程における主人公である。労働とは、人間の間の活動でなければならないにもかかわらず、資本主義社会においては、賃金労働者＝労働力商品として人間性がそこなわれ、常に抑圧され続けている。人間が人間として社会的に生きるということは、労働者同士の連帯はもとより、一人一人の労働者が主体制を確立し、人権・被差別・平和な社会建設にむけ、政治変革、社会変革をかちとらねばならない」と語った。幕張支部A氏の感想文を紹介する。

自覚を高め、組織を強化しよう  
感想文  
幕張支部 A生

講演を受けている時は「なるほどな」と思うことがありました。連帯、共同体、社会的・共同的生活という文字が非常に多くでてきました。しかし、自分なりに理解、分析しようとする労働者とは一体何なのかむずかしい面もあります。



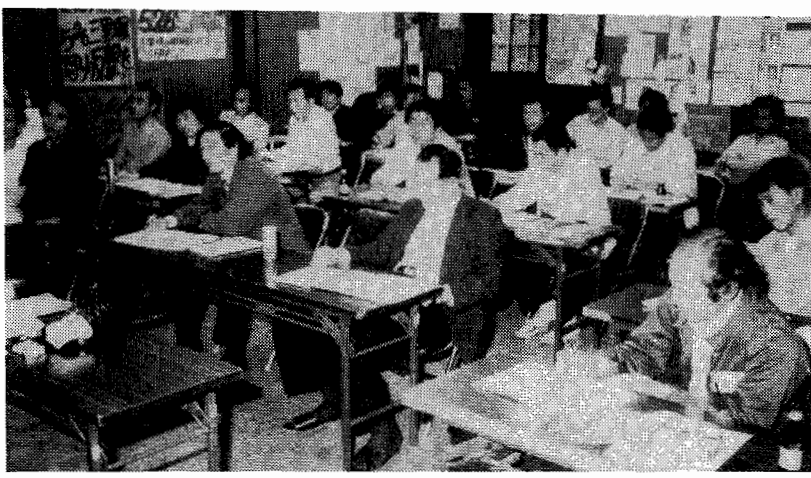
国鉄「分割・民営化」問題にもふれながらの鎌倉教授の講義。

一人では働くこともできません。必ず組織、共同体に属しています。三、四年前くらいから、勤労千葉は「一人は万人のため、万人は一人のために」をスローガンに労働者立場で団結を訴えたことがありました。今でもそうであると思います。

本部役員は、下部組合員を、下部組合員は本部役員を信頼し、個人個人の考え方、意見を吸いあげ職場共同体から勤労千葉全体としての労働者の運動をすすめていくことを私は理解し、このような道を歩んでいると思います。

資本主義社会での労働者は、常に国家や資本家に搾取され、労働強化、合理化を強いられ、余剰労働者はすてられています。

今、まさに国鉄も分割・民営化を狙い、労働者同士の競争をあおり、人よりも多く賃金をもらい、他人をけおとして生きのびようとさせることを狙っていることは明白であり、動労「本部」革マルは、それを実践



していることは誰でもよく知っているとところです。そんな組織が労働者の組織であるはずがありません。絶対に勤労千葉はこのような道をすすまない。そのためにも、組合員一人一人が集会、動員へ参加することをとおして自覚を高め、今の組織をより強化しようではありませんか。私の感じたままを文字にしてみました。

全職場で、全力でとりくもう！  
東峰十字路裁判被告への  
重罪・重刑適用に反対する署名

昨年11月政府公団千葉地検は秋葉島村益川3氏への10年、1年6か月という断じて許せぬ重刑求刑を行った。しかも百%アップした。故に反対同盟解体のためには手段を選ばぬアップあげ暗黒攻撃に出てきたのだ。「一千万力ニハ、十万人署名」で3氏を絶対に守ろう。